

# 令和6年度 草津市産業振興審議会 会議録

## ■日時：

令和6年7月30日（火）14時30分～16時30分

## ■場所：

キラリエ草津 5階 501会議室

## ■出席委員：

上田委員、奥村委員、金澤委員、栗崎委員、肥塚委員、辻田委員、成田委員、  
西原委員、馬場委員、廣瀬委員、藤原委員、船越委員、南委員

## ■欠席委員：

中島委員、峯俊委員

## ■事務局：

環境経済部 田中部長、太田専門理事  
商工観光労政課 川原課長、宇野課長補佐、大隅係長、河上主査、堤主任

## ■傍聴者：

0名

## 1 開会

### 【部長】

本日は、御多用の中、令和6年度 草津市産業振興審議会に御出席いただきありがとうございます。

さて、本市におきましては、地域経済の発展と市民生活の向上を目的として、令和5年7月に草津市産業振興条例を制定するとともに、産業全体の中長期的な方向性を示す計画として、草津市産業振興計画を令和5年7月に策定したところでございますが、本日は、産業振興計画に基づく取組の進行管理1年目の年となります。

詳細につきましては、後ほど事務局より、昨年度の取組実績や今年度の取組に関するご説明をさせていただきますので、委員の皆様におかれましては、活発な御議論をお願い致しまして、はなはだ簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

### 【事務局】

＜新委員（成田委員）の紹介、挨拶＞

＜草津市附属機関運営規則に基づき、本審議会が成立していることを報告＞

## 2 審議

---

### （1）草津市産業振興計画の概要ならびに令和6年度の主な取組について

#### 【事務局】

＜資料3および資料4に基づき説明＞

#### 【会長】

事務局の説明を受け、質問等はあるか。

—質問、意見等なし—

### （2）草津市産業振興計画の進行管理について

#### 【事務局】

＜資料5-1および5-2に基づき説明＞

#### 【会長】

昨年度に策定した産業振興計画の進捗をこの審議会で今後していくということである。

事務局の説明を受け、質問等はあるか。

#### 【委員】

全般に対して、概ね予定通り進んでいるように思えるが、この会議では、10年間という計画期間を定めて策定したものに対するその進捗を管理することとなっている。

当初の計画に対する進捗管理だけを10年間やっていくのではなく、その都度、ブラッシュアップする必要のあるものもあると思うので、そういった観点で審議したほうがいいのではないか。

例えば、戦略1のイノベーション創出の部分では、草津市に誘致したい企業やこんな形の産業形態をイメージしているかなど、進捗確認と一緒にブラッシュアップできるものもあればいいのではと思う。

#### 【会長】

ご指摘のとおり、10年間の計画ではあるが、5年後に見直しをすることとなっている。令和9年度の中間見直しの時期を見据えて、単年度の進捗を管理するとともに、中長期的な視点を見据えたご意見もいただければ、見直し時に反映ができる。

また、この時期に審議会を実施している趣旨から鑑みるとこの場で出た意見などを踏まえて、市において、来年度の予算編成を今後、行われることとなるので、令和5年度の実績の部分だけでなく、次年度以降の取組に対して特にご意見をいただきたい。

#### 【委員】

草津市においては、立命館大学のBKCインキュベータから卒業した方の入居先が豊富になることや若い経営者が増えるまになれば良いが、どういったカテゴリーの企業に入ってもらいたいとか草津市としてこんな産業の形になってほしいというものががあればそれと併せるような施策を進めていくことで大きく前進できると思うがいかがか。

#### 【会長】

市の希望や考え方だけでなく、産業界としても希望や思いがあると思うので、せっかくの

機会なので、意見を出してもらえばと思う。まずは市として思い描いている形はあるか。

#### 【事務局】

草津市の特徴として、大学やさまざまな企業に加えて、医療機関も多く存在して恵まれている状況である。ご指摘のとおり企業のカテゴリーなどは、草津市全体の産業構造を考えるうえでは重要な部分であるので、産業界の皆さまの意見を聞きながら、実施をしていくと計画にも記載していることから、いただいた意見を踏まえた企業誘致に取り組んでいきたいと考えている。

#### 【委員】

(公財)滋賀県産業支援プラザでは、滋賀県立テクノファクトリーを指定管理者として運営している。大学と連携した研究開発や少し広いスペースで事業がしたいという方も支援しているが、せっかくこのような施設がある地域なので、連携を深めていきたいと考えている。

また、立地の関係は、すぐにはできないとは思うが、色々な企業が立地しやすい環境整備を進めていただけたとありがたい。企業の本音としては、事業を実施したいが、その場所を見つけるのが難しく、主要地から離れればあるが、場所が遠くなれば、雇用がしづらいという問題が生じるので、近場で実現できる取組をお願いしたい。

戦略1のKPI①は、基準値よりも増えており、ビジネスサポートセンターができたことが要因であると思うが、内創業者数の内訳として、どのような業種が多いのかなどの状況を伺う。

#### 【事務局】

サービス業、商業が多くなっている。特に介護系や福祉系、飲食店、などが多い状況となっている。

企業立地やポストインキュベーション施設創出に向けた市の取組について、これまで多くの企業から立地適地に関する問い合わせをいただいていたが、なかなか誘致に結び付けることができなかつたため、農地を転用することも視野に入れて新たな産業用地を創出したいと考えている。そのためには、具体的な企業のニーズが重要になるので、そのあたりも調査しながら進めていきたいと考えている。この度、6月議会において当該調査に関する補正予算の承認を受けたところであり、これは昨年度策定した産業振興条例と産業振興計画がきっかけである。

#### 【委員】

弊社では、4月から新たな計画を策定して、基本戦略を定めた。地域にどのようなインパクトを与えるかということでインパクトデザインというワードを作った。これに至った経緯としては、弊社は地域の活性化のために投資をするという意思表示である。創業支援については、企業を誘致するということで新たな事業が生まれて、雇用が生まれる。上場企業であることに固執するつもりはないが、全国的に見ても、滋賀県はまだまだ上場企業が少ない状況にある。

戦略3のゼロカーボン、環境に配慮した取組は各企業でも取り組んでいただいているが、啓発をしていても、なかなか進んでいないのが実態である。滋賀県全体の目標に対する達成

度も低くなっている。ゼロカーボンが進まない理由を伺いたい。

【委員】

ゼロカーボンにつながる案件はなかったとあるが、これだけの予算を付けているにも関わらず、なぜ進まないのか。市としてはどのように分析しているのか。

【事務局】

予算については、市から立命館大学と商工会議所に配置いただいている2名のコーディネータの人事費相当分である。コーディネータは、市内企業を訪問し、企業ニーズに応じた支援を行うことが目的である。昨年度は、訪問活動の中でゼロカーボンに関する相談が1件もなかったということになる。

【委員】

具体的な施策は打てていないということか。

【事務局】

国・県の支援施策を広く情報発信するということが計画の中での市の役割となっており、市独自の取組はないのが現状である。

【委員】

ゼロカーボンに関する助成金は多く用意されているが、金額として少額であるものが多く、そのために多くの書類を書くのは費用対効果が合わない。ゼロカーボンに係る費用は多額になることから、少額の助成金ではなく、もっと大きな規模の助成金を出さないと動かないのではないか。

IPO（株式上場）に関しては、管理などが煩雑になるにも関わらず、メリットを感じられにくいのが伸び悩む原因ではないか。

【委員】

IPOについては、昨年度から株式上場のための社長塾を始めたが、上場する意義がよく理解されていないというのは感じる。資金調達だけでなく、人材確保や海外展開、事業承継に活かしているという実績が増えているので、上場を身近に感じてもらう機運の上昇はしているのではないかといけない。

【委員】

弊社では目標を設定して取組を進めているが、太陽光発電を導入しても現在の消費電力の半分程度しか貯えないので現状である。また、設備導入して20年後には、メンテナンスも必要になってくることを考えると、企業の本心としては、様子見をしているのが現状ではないかと思う。市でもなにかクリーンエネルギーを生み出す仕組みを構築するなどということがあればカーボンニュートラルの世界へ近づくのではないか。

【委員】

社会実験等の支援について、実施主体が市になっているが、市の姿勢はどのようなものなのか。立命館大学で社会実験をしたいともなれば積極的に協力いただけるのはとてもありがたいが、全国的に社会実験に前向きな市であるというアピールをどのようにされていくのか。

また、企業立地に関して、産業用地の可能性調査をするうえで、企業アンケートを実施す

る予定になっているが、対象を市内企業に絞りすぎると偏った意見になる可能性もあるので、滋賀県や周辺地域など、幅の広く意見を聞き、まとめたほうが良い施策になるのではと思う。

#### 【事務局】

社会実験の部分について、産業振興団体がいらっしゃる中での行政の立場としては中立的な立場であるべきと考えている。連携するためには、音頭取りが必要になるので、その役割をメインで行政が行おうと考えている。

企業誘致については、これまで様々な企業から立地適地に関する問い合わせをいただいているが、客観的に草津市がどれくらいのポテンシャルを有しているのか、把握しきれていないので、まずは今回の調査の中で確認していきたいと考えている。アンケートは、市外、県外企業を中心に実施する予定である。

また、滋賀県の策定している産業立地戦略等にも沿った方向で検討していきたいとは考えている。農地転用を見据えた産業用地の創出を検討しているので、基本的には国県の示す方向性にも合致した業種を選択していくことになると考えている。

#### 【委員】

企業立地の問い合わせがたくさんあるとのことだが、具体的にはどのような業種が多くなっているのか。また、今ある問い合わせをすべて受け入れた場合、どのような市になるのか。

#### 【事務局】

実情としては、デベロッパーや不動産会社を介して探しておられる企業が多いので、業種は製造業が多いが、具体的な企業名までは把握できていない。

企業誘致による雇用の創出につながることが期待されるので、理想としては、市内在住者の雇用につながるとよいが、市外・県外から通勤される場合でも、人流れが生まれることにより地域経済の活性化にもつながると思われる所以そのような点も期待したい。

商業系の企業(店舗)進出に対して市が補助金を出してはどうかという意見もいただくが、工業系と比較して入れ替わりが激しい実情もあることから、現状は、工業系の企業誘致に注力していきたいと考えている。

#### 【委員】

KPIの実績として、創業支援者数や創業者数は伸びているのはビズサポの取組の影響によるところがあるかと思うが、一方で、率としては低下していると思うが、要因はなにか。なぜ創業を諦めたのか、市外での創業になったのかなどのデータはあるのか。

#### 【事務局】

この値は年度単位での集計になっている。一方で、創業相談は年度をまたいで継続的に行われることが多いことから、単純に相談者数と創業者数を比較できるものではなく、創業率が低下しているというものではない。昨年度本市で創業支援を行った方は、市内で起業されている方が多いが、起業する上で希望する場所・物件が見つからなかつたといった理由で断念されているケースもある。

#### 【委員】

ビズサポで情報発信は十分にできているのではないかと思ったが、まだ情報発信をしていく必要はあるのか。

**【事務局】**

情報発信という意味では、先輩起業家の方の話を聞ける機会をたくさん作り、より具体的な話を聞いてもらえる環境づくりが大切だという認識を持っている。

**【委員】**

8月1日にオープンする草津市立プールは西日本最大級ということで、観光振興の面でも大いに期待できる。また、デジタルマーケティングということで観光物産協会ではグルメマップの活用を進めているが、来年度は国スポがあるので、そのようなコンテンツを活用してさらなる商業の活性化に繋げられればと思う。

カーボンニュートラルの観点では、ホテル業を営んでいる身としては、エコの観点からペットボトルの削減の重要性は理解できるが、ビジネスとしてお客様からお金をいただいていることを踏まえると、満足度を上げるためにには必須であり、ホテル業の経営者から考えるとなかなか難しい。

**【委員】**

4月に実施された大学生を対象とした創業機運醸成イベントは17名参加されたが、17名のうち何名が次のアクションに繋げられたのか。

また、2回目の開催はあるのか。

**【事務局】**

現時点では個別具体的に相談したいという声は聴いていない。機運醸成を目的とした取組ではあるので、短期的に結果を見出すことは難しいと考えており、どちらかというと長期的な目線で確認していきたい。

今年度が初開催であったが、参加者の意見としては好評であったため、来年度も引き続き実施することができるように関係各所とは調整している。

**【委員】**

大学生で参加された多くが2回生、3回生だったが、大学生の特徴として、卒業後は市外に転出してしまうことになるので、この大学に通っている4年のうちに起業というアクションを起こさせる工夫が必要であると感じる。

**【会長】**

来年度の実施の際には、そういった点を考慮して実施を検討してもらいたい。

**【委員】**

新規創業の部分が多いが、既存の事業者からの新事業を支援するという観点を入れてもらいたい。今は事業継承など後継ぎ支援に関するセミナーをよく開催しているが、後継ぎの人才への支援もしているので、草津市でもなにか取組を行ってもらいたい。

## 5 その他

---

草津市産業振興計画に関する取組について（話題提供）

＜参考資料1および2に基づき情報交換＞

- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿本部
- ・公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

## 6 閉会

---

【専門理事】

本日は委員の皆さま長時間ありがとうございます。貴重な意見もありがとうございます。企業立地の取組については、今年度から来年度にかけて進めてまいります。スピード感をもってやることが大切であるとは認識しておりますので、来年度のこの場で皆さんに良い報告ができるようにすすめてまいりますので、引き続き、よろしくお願ひいたします。

以上。